

製品仕様

サイズ	808(W)×390(D)×552(H) mm
重量	9.5kg
スキャン領域	220(W)×300(H) mm
電源	100 ～ 240V 50/60Hz 2.0A
標準価格	2,500,000円

ノートPC 推奨スペック

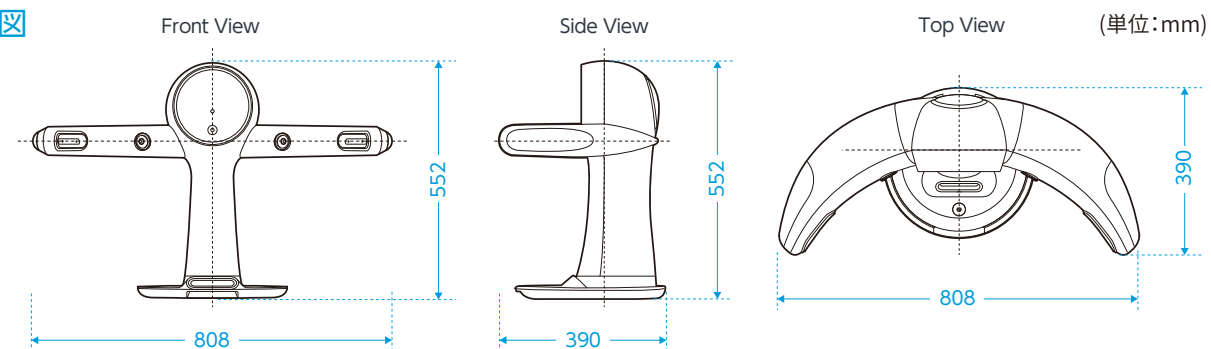
CPU	Intel Core i7-10800H
メモリ(RAM)	32GB
GPU	NVIDIA GeForce RTX 3070 8GB
ストレージ	1TB SSD
モニター	スクリーン解像度 1920 X 1080
USBポート	1 x USB port 2.0
LAN	1Gbps イーサネット・インターフェイス
OS	Microsoft Windows® 10 x64 Microsoft Windows® 11 x64

3D Dental Face Scanner

RAYFace

”見えない悩み”を、”見える理想”に

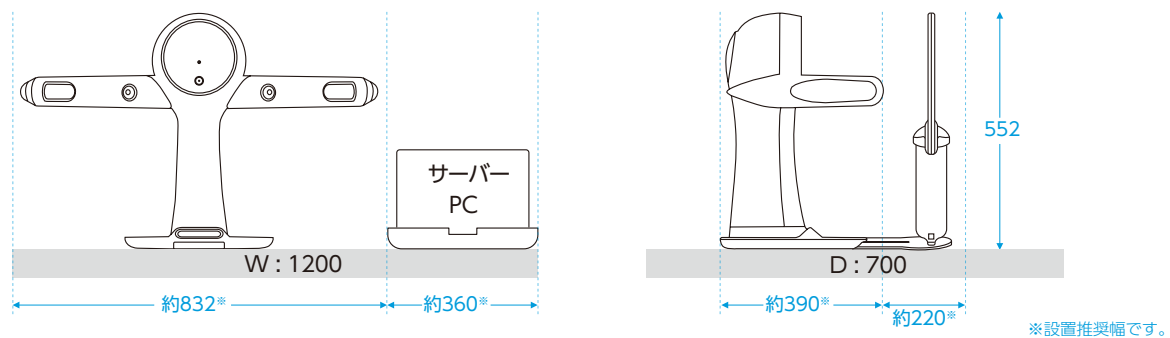
寸法図



設置イメージ

設置テーブル推奨サイズ: 横幅1200 ×奥行き700 mm (電動昇降式推奨)
※ 電動昇降式でない場合、昇降式椅子を推奨

(単位:mm)



販売名: RFS200 フェイススキャナー 一般的名称: 頭部顔面規格写真撮影装置 届出番号: 13B2X10322RD0008 (一般)
製造販売元: 株式会社 RAY JAPAN 東京都港区芝公園2-3-6 PMO 浜松町II 2F
※ RAYFace の販売名は、RFS200 フェイススキャナーです。

※仕様および外観は製品改良等のため、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。※このカタログに記載の価格は標準価格(税抜)です。 禁無断転載

販売元 株式会社 **ヨシダ** 〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9

ヨシダ取扱製品に関するお問い合わせは

株式会社ヨシダ コンタクトセンター | ☎ 0800-170-1170 月～金 9:00～17:30 土 9:00～17:00 (日曜・祝祭日を除く)



(01)02747937023228

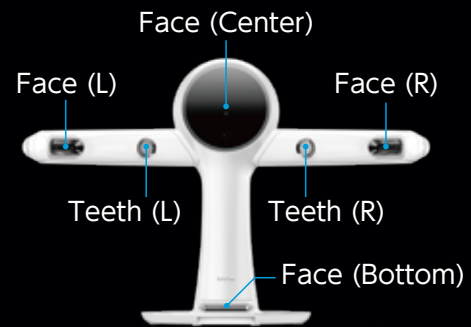
C02753/2025 年 8 月 / @40/ 新



診療のスタートは、
0.5秒のフェイススキャンから

0.5秒 One-Shot 撮影

4つの顔貌カメラと2つの歯牙専用光学センサを搭載



デンタルアバターを簡単に構築



オートマッチング

顔貌データに患者さんの
CTデータとiOSデータを
自動でマッチング



歯牙専用カメラ

- 2つの歯牙撮影専用のカメラにより、精度の高いメッシュデータを取得
- iOSデータやCT DICOMデータとの高精度にマッチング可能



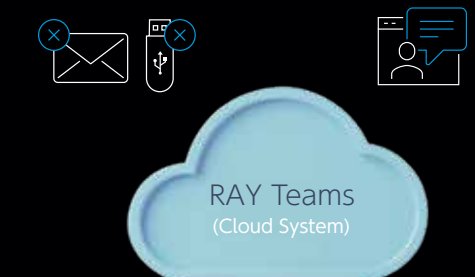
ランドマークの自動検出

咬合平面・正中線・FH線・ヒンジアキスなど、
ランドマークを自動検出



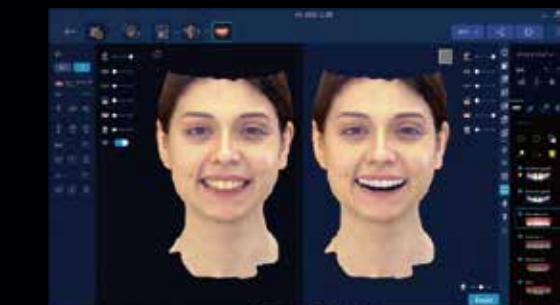
RAYTeams

- クラウド上でファイルを保管・管理
- クラウド上で技工指示書のやり取りが可能
- 発注フローの簡略化
- 症例データと設計結果を同時にレビュー



ビフォーアフターイメージ

仮想患者データをもとに、術前術後予想の比較を表示



- RAYFaceでは、スマイル・レストイング・リトラクションの3種類の画像を取得
- iOSを使用して、上顎と下顎の画像データを取得
- CTで頭頸部の画像データを取得し、DICOM形式でRAYFaceアプリケーションに取り込み
- iOSデータは、STL/PLY形式であれば他社データにも対応
- DICOM形式のCTデータに対応

RAYFaceアプリケーションは、さまざまな装置で取得したデータを一つのプラットフォームに取り込み、画像をマッチングすることを可能にします。自動マッチングは、画像調整作業に掛かる時間を大幅に削減します。

クラウド経由でiOSとも連携

RAYFaceデータは、クラウド経由で、
iOSデータと統合(アバター化)可能です。



MEDIT Link

仮想患者データを構築するデジタルワークフロー

